ウエルパス®
手指消毒液0.2%

【薬効薬理】

1.本剤は使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌等）及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

2.**ウエルパス手指消毒液0.2%の殺菌作用**
ウエルパス手指消毒液0.2%は*in vitro*の試験において、黄色ブドウ球菌、大腸菌、セラチア、緑膿菌、バークホルデリア・セパシア等の各種細菌を15秒以内に、抗酸菌については15～30秒以内に検出限界以下まで殺菌した。また、エンテロウイルス70型、単純ヘルペスウイルス1型、アデノウイルス1型、ヒトロタウイルス等のウイルスに対して30秒以内に残存ウイルス力価を測定限界値以下にまで不活化した。

(01)04987211660437

火気厳禁

第　4　類
アルコール類
水　溶　性
危険等級Ⅱ
エタノール

使用後、フィルムをはがしてキャップをはずした後、空容器を図のようにして折り目を外側に押しつぶして下さい。
（つぶした後は元に戻りません。）

キャップ：PP
ボトル：PE
ラベル：PET

A-1

使用量目安

100
200
300
400

開封日　　年　　月　　日

とりかえの目安　　年　　月　　日

速乾性擦式手指消毒剤

ウエルパス®
手指消毒液0.2%

WELPAS®
Antiseptic Solution for Hand 0.2%

飲用不可

注意　1. 手指消毒以外の目的には使用しないこと。
2. 本剤は希釈せずに原液のまま使用すること。

500mL

製造番号

使用期限

製造販売元
㊞ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

残量目安

400
300
200
100

ウエルパス®
手指消毒液0.2%

2018年10月改訂（第3版） 2014年　9月改訂	
日本標準商品分類番号	872619
承認番号	22100AMX01378
薬価収載	薬価基準対象外
販売開始	2009年8月

貯　　法：密栓し、火気及び直射日光を避けて保存する。
使用期限：3年（ケース等に表示の使用期限を参照すること。）

【禁忌（次の場合には使用しないこと）】
損傷皮膚及び粘膜［エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。］

【組成・性状】

1.**組成**　100mL中
ベンザルコニウム塩化物　0.2g（0.2w/v%）
及び添加物としてプロピレングリコール、ミリスチン酸イソプロピル、エタノール、その他4成分　含有。

2.**性状**　エタノールを含有する無色澄明の液で、特異なにおいがある。
本品10mLはアセトン10mL以下又は水1mL以下と混和するが、溶媒の量を増加するとき、白濁する。
比重 d^{15}_{15}：0.860～0.870

【効能・効果】
医療施設における医師、看護師等の医療従事者の手指消毒

【用法・用量】

1.**医療従事者の通常の手指消毒の場合**
本剤約3mLを1回手掌にとり、乾燥するまで摩擦する。ただし、血清、膿汁等の有機物が付着している場合は、十分に洗い落とした後、本剤による消毒を行う。

2.**術前・術後の術者の手指消毒の場合**
手指及び前腕部を石けんでよく洗浄し、水で石けん分を十分洗い落とした後、本剤約3mLを手掌にとり、乾燥するまで摩擦し、更にこの本剤による消毒を2回繰り返す。

ウエルパス®
手指消毒液0.2%

【使用上の注意】

1.**重要な基本的注意**
（1）本剤は希釈せず、**原液のまま使用**すること。
（2）本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。
眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。

2.**副作用**
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症	紅斑、そう痒感、浮腫等
皮　膚	刺激症状

このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3.**適用上の注意**
投与経路：手指消毒以外の目的には使用しないこと。
使用時：
（1）反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
（2）血清・膿汁等の有機物は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分洗い落としてから使用すること。
（3）石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落としてから使用すること。
（4）引火性、爆発性があるため、**火気には十分注意する**こと。
（5）本剤で消毒した手指で、2.5kg以下の低出生体重児を取扱う場合、低出生体重児の皮膚がかぶれることがあるので十分注意すること。